



1	はじめに .....	1
2	応用生態工学会第 24 回札幌大会延期の決定及び ELR2021 大会の延期の方針について .....	2
3	2020 年度海外学会等への派遣者の選考結果報告 .....	2
4	第 12 期各委員会委員決まる .....	3
5	理事会・幹事会報告	
5.1	第 104 回理事会報告 .....	6
6	2020 年度行事経過と今後の予定 .....	7
7	事務局より .....	8

## 1 はじめに

今年度最初のニュースレターとなります。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、政府による緊急事態宣言が発せられ、社会・経済活動に深刻な影響が生じていますが、当学会の活動にも影響が及んでいます。今号はそれらを中心に学会の動きをお伝えします。2020. 5. 21

### 応用生態工学会第 24 回札幌大会延期の決定及び ELR2021 大会延期の方針についてお知らせいたします

応用生態工学会第 24 回札幌大会は、本年 9 月 24 日 (木) ~9 月 28 日 (月) の日程で、北海道道立道民活動センター「かでの 2.7」を主会場として開催の準備が 2020 札幌大会実行委員会によって進められてきましたが、外出自粛要請もあり、実行委員会の開催もままならぬ状況となっています。

また、ELR2021 大会については、応用生態工学会が幹事学会として来年開催する予定となっていますが、ELR2021 大会の円滑な準備が難しくなることが懸念されることや、東京オリンピック・パラリンピックが来年に延期されたことによる影響も懸念されています。

これらの状況を受けて、理事会 (メール会議) を開催し審議した結果、第 24 回札幌大会の延期と ELR2021 大会の延期の方針が承認されました。

### 第 12 期各委員会委員の名簿を掲載しました

第 11 期の各委員会委員の任期が 2020 年 3 月 31 日で満了となるため、学会規約第 18 条第 2 項の規定に基づいて、会長から第 12 期の各委員会委員について委嘱を行いました。

第 12 期の各委員の任期は、2020 年の各委員の所属する機関の承認日から 2022 年 3 月 31 日までです。

## **2 応用生態工学会 第24回札幌大会延期の決定及びELR2021大会延期の方針について**

### **2.1 経緯**

新型コロナウイルス感染については、収束の見通しが依然不透明な状況にあることから、札幌大会の開催について実行委員会と検討を進めてきた。

ELR2021大会については、応用生態工学会が幹事学会として来年開催する予定となっている。しかし、ELR大会の円滑な準備が難しくなることが懸念されることや、東京オリンピック・パラリンピックが来年に延期されたことによる影響も懸念される。

以上のことから、5月14日～20日に第105回理事会（メール会議）を開催し、以下の内容について審議した。

1. 第24回札幌大会の今年の開催は見送り、来年2021年9月に延期することとしたい。

なお、今年度の研究発表の機会を失うことに対する救済的な措置について、実施のメリット・デメリットなどを含めて検討することとする。

2. ELR2021大会については次年度（2022年度）に延期する方針としたい。

その結果、第24回札幌大会及びELR2021大会に関する上記の内容が承認された。

### **2.2 今後の予定**

今年度の研究発表の機会を失うことに対する救済的な措置については、学会事務局において、実施のメリット・デメリットなどを含めて検討することとする。

ELR2021大会については、幹事学会の延期方針を日本景観生態学会、日本緑化工学会に報告し、各学会の了承を得て正式決定となる。

### **2.3 第24回札幌大会公開シンポジウムの河川基金助成の特別措置**

2020年度の河川基金助成事業として採択された公開シンポジウム「未来の治水を考える：国土と生態系の強靱化を目指して」は助成期間が1年となっているが、今回、コロナ対応として特別措置ということで研究期間を延長して研究すること（2年以内）が可能となった。

## **3 2018年度海外学会等への派遣者の選考結果報告**

国際交流委員会委員長 篠原隆一郎

国際交流委員会では、2020年度海外学会等への派遣員について、学会ホームページ、ニュースレター、メーリングリストにより、2月17日～3月31日の期間で募集を行ったが、期間内に郵便物及びメールいづれも応募がなかったため、募集期間の延長について委員間で協議した。

- i コロナウイルス感染の終息が見えないこと
- ii 国際学会自体がほぼ中止となっていること

上記の理由から、募集期間の延長はしないこととし、この方針を理事会に報告し了承いただいた。

## 4 第12期各委員会委員決まる

第11期の各委員会委員の任期が2020年3月31日で満了となるため、学会規約第18条第2項の規定に基づいて、会長から第12期の各委員会委員について委嘱を行った。

第12期の各委員の任期は、2020年の各委員の所属する機関の承認日から2022年3月31日までである。

### 1. 会誌編集委員会

委員長：(再任) 萱場 祐一	(国研) 土木研究所水環境研究グループ
副委員長：(再任) 尾花まき子	名古屋大学大学院工学研究科
副委員長(再任)・担当役員(新任)：西 浩司	いであ(株)国土環境研究所，学会理事
副委員長：(再任) 三宅 洋	愛媛大学大学院理工学研究科
委員：(再任) 池内 幸司	東京大学大学院工学系研究科，学会理事
(再任) 石澤 伸彰	応用地質(株) 地球環境事業部，学会幹事
(再任) 石山 信雄	(地独) 北海道道立総合研究機構森林研究本部林業試験場
(再任) 一柳 英隆	(一財) 水源地環境センター
(再任) 井上 幹生	愛媛大学大学院理工学研究科
(新任) 乾 隆帝	福岡工業大学社会環境学部
(再任) 上野 裕介	石川県立大学生物資源環境学部，学会幹事
(再任) 卜部 浩一	北海道立総合研究機構水産研究本部さけます・内水面水産試験場
(再任) 大森 浩二	愛媛大学社会共創学部
(再任) 加賀谷 隆	東京大学大学院農学生命科学研究科
(再任) 柿野 亘	北里大学獣医学部
(再任) 笠原 玉青	九州大学大学院農学研究院，学会幹事
(再任) 片野 泉	奈良女子大学研究院，学会幹事
(再任) 河口 洋一	徳島大学大学院社会産業理工学研究部
(新任) 久加 朋子	北海道大学大学院工学研究院，学会幹事
(新任) 久米 学	京都大学フィールド科学教育センター
(再任) 佐川 志朗	兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科，学会理事
(再任) 田代 喬	名古屋大学減災連携研究センター
(再任) 傳田 正利	(国研) 土木研究所水災害・リスクマネジメント研究センター，学会幹事
(再任) 東城 幸治	信州大学理学部
(新任) 中田 和義	岡山大学環境理工学部
(再任) 永山 滋也	岐阜大学流域圏科学研究センター，学会幹事
(再任) 西廣 淳	(国研) 国立環境研究所気候変動適応センター，学会幹事
(再任) 根岸淳二郎	北海道大学大学院地球環境科学研究院
(再任) 比嘉 基紀	高知大学理工学部
(再任) 舟橋 弥生	国土交通省水管理・国土保全局，学会幹事
(再任) 皆川 朋子	熊本大学大学院先端科学研究部
(再任) 森 誠一	岐阜協立大学経済学部
(再任) 山田 浩之	北海道大学大学院農学研究院，学会幹事
(再任) 吉村 千洋	東京工業大学環境・社会理工学院，学会幹事
(新任) 渡辺 敏	(株) ウエスコ業務推進本部，学会幹事

注) 編集幹事会：編集委員会に編集委員長が指名する編集委員で構成する編集幹事会を置き、編集事務の運営を行う(応用生態工学会会誌編集委員会内規第3条の後段)。

## 2. 普及・連携委員会

応用生態工学に関する講習会、現地見学会の企画、「市民との交流」あるいは「住民運動との係わり」に関して検討し、または必要に応じて実践的な活動を目指す。

委員長：(再任)河口 洋一 徳島大学大学院社会産業理工学研究部

委員：(再任)(札幌)渡邊 恵三 (株)北海道技術コンサルタント技術部  
 (再任)(仙台)佐藤 高広 (株)復建技術コンサルタント都市・環境部, 学会幹事  
 (再任)(東京)久保市浩右 応用地質(株)地球環境事業部  
 (再任)(新潟)原文宏 (株)建設技術研究所北陸支社  
 (再任)(長野)元木 達也 (株)環境アセスメントセンター北信越支社  
 (再任)(富山)林 達夫 大日本コンサルタント(株)北陸支社  
 (再任)(金沢)平野 博範 (株)国土開発センター環境事業部  
 (再任)(福井)森田 弘樹 (株)サンワコン環境技術室  
 (新任)(名古屋)小松 健太 玉野総合コンサルタント(株)地球環境部  
 (新任)(大阪)山田 啓介 八千代エンジニアリング(株)大阪支店環境部  
 (再任)(岡山)藤谷 俊仁 (株)建設環境研究所岡山事務所  
 (新任)(広島)若宮 慎二 復建調査設計(株)環境部  
 (再任)(松山)川越 幸一 (株)建設環境研究所高松支店  
 (再任)(福岡)齋藤 剛 西日本技術開発(株)環境部  
 (再任)(那覇)宮良 工 (株)沖縄環境地域コンサルタント

市民連携担当委員：

(再任)赤坂 卓美 帯広畜産大学環境生態学分野環境生態学系  
 (再任)乾 隆帝 福岡工業大学社会環境学部  
 (再任)田代 優秋 和歌山大学産学連携イノベーションセンター  
 (再任)中井 克樹 滋賀県立琵琶湖博物館  
 (再任)森 誠一 岐阜協立大学経済学部  
 (再任)山下 慎吾 環境省中国四国地方環境事務所野生生物課  
 (再任)吉富 友恭 東京学芸大学総合教育科学系環境教育研究センター

担当役員：(再任)武藤 裕則 徳島大学大学院社会産業理工学研究部, 学会理事

## 3. 国際交流委員会

国際交流委員会は、国際学術交流と、他分野・業種間交流を円滑にすることを目的とする。

委員長：(新任)篠原隆一郎 (国研)国立環境研究所地域環境研究センター (委員⇒委員長)

委員：(再任)兵藤 誠 いであ(株)大阪支社河川水工部  
 (再任)藤野 毅 埼玉大学理工学研究科  
 (再任)根岸淳二郎 北海道大学大学院地球環境科学研究院  
 (再任)八重樫咲子 山梨大学総合研究部  
 (新任)渡辺 幸三 愛媛大学大学院理工学研究科 (委員長⇒委員)

担当役員：(再任)浅枝 隆 埼玉大学, 学会副会長

## 4. 情報サービス委員会

情報サービス委員会は、本学会の情報サービスの提供を目的とし、ホームページ、メーリングリスト等による学会活動、研究助成情報、関連学会情報等の公開・提供を行う。

委員長：(再任)沖津 二郎 応用地質(株)応用生態工学研究所

委員：(新任)五十嵐美穂 日本工営(株)基盤技術事業部, 学会幹事  
 (再任)石澤 伸彰 応用地質(株)地球環境事業部, 学会幹事

(再任)大杉 奉功 (一財)水源地環境センター

(再任)久加 朋子 北海道大学大学院工学研究院, 学会幹事

担当役員：(再任)藤田 乾一 (株)大林組土木本部, 学会理事

## 5. 技術援助委員会

学会規約第4条に定める応用生態工学に関する技術援助を実施し、応用生態工学に関する調査・研究活動の促進を図り、当学会の目的の達成に貢献していく。

委員長：(再任)関島 恒夫 新潟大学農学部

担当役員：(再任)浅見 和弘 応用地質(株)技術本部技師長室, 学会理事

## 6. 将来構想委員会

研究会組織、事務局体制、法人化、会誌季刊化、受託事業、会費等改正、およびそれらに伴う規約の改正など、研究会の近い将来を含めた将来構想を検討する。

委員長・担当役員：(再任)中村 太士 北海道大学大学院農学研究院、学会理事

委員：(再任)浅見 和弘 応用地質(株)技術本部技師長室, 学会理事

(再任)田代 喬 名古屋大学減災連携研究センター

(再任)西 浩司 いであ(株)国土環境研究所, 学会理事

(再任)根岸淳二郎 北海道大学大学院地球環境科学研究院

(新任)益岡 卓史 (株)建設環境研究所大阪支社, 学会理事

(再任)三宅 洋 愛媛大学大学院理工学研究科

## 7. テキスト刊行委員会

委員長：(新任)吉村 千洋 東京工業大学環境・社会理工学院, 学会幹事

委員：(新任)一柳 英隆 (一財)水源地環境センター

(再任)岩瀬 晴夫 (株)北海道技術コンサルタント川づくり計画室

(新任)上野 裕介 石川県立大学生物資源環境学部, 学会幹事

(再任)鬼倉 徳雄 九州大学大学院農学研究院

(新任)河口 洋一 徳島大学大学院社会産業理工学研究部 (委員長⇒委員)

委員(再任)・担当役員(新任)：関根 秀明 (株)建設技術研究所東京本社, 学会理事

(再任)永山 滋也 岐阜大学流域圏科学研究センター, 学会幹事

(再任)原田 守啓 岐阜大学流域圏科学研究センター

(再任)舟橋 弥生 国土交通省水管理・国土保全局, 学会幹事

(再任)三宅 洋 愛媛大学大学院理工学研究科

(新任)森 照貴 (国研)土木研究所自然共生センター

(再任)和田 彰 日本河川・流域再生ネットワーク事務局

## 8. 災害対応委員会

大規模災害時における緊急調査等の対応方針の検討など大規模災害からの復旧・復興と環境保全・復元の課題に取り組む。

委員長・担当役員：(再任)久保田 勝 東北電力(株), 学会理事

委員：(再任)萱場 祐一 (国研)土木研究所水環境研究グループ

(再任)島谷 幸宏 九州大学大学院工学研究院, 学会理事

(再任)関根 秀明 (株)建設技術研究所東京本社, 学会理事

(再任)中村 太士 北海道大学大学院農学研究院, 学会理事

(再任)鬼倉 徳雄 九州大学大学院農学研究院

(再任)北村 匡 共和コンクリート工業(株), 学会幹事長  
(再任)西廣 淳 (国研)国立環境研究所気候変動適応センター, 学会幹事

### 9. 企画運営委員会(事務局改善委員会を改称)

学会の財務状況を健全に維持し、事務局の円滑な運営を図るため、各種課題に取り組む。

委員長:(新任)藤田 乾一 (株)大林組土木本部, 学会理事(委員⇒委員長)

委員(再任)・担当役員(新任):浅見 和弘 応用地質(株)技術本部技師長室, 学会理事

委員:(再任)久保田 勝 東北電力(株), 学会理事  
(新任)和泉 大作 (株)建設技術研究所東京本社  
(再任)西 浩司 いであ(株)国土環境研究所, 学会理事  
(再任)舟橋 弥生 国土交通省水管理・国土保全局, 学会幹事  
(新任)森北 佳昭 (一財)水源地環境センター(委員長⇒委員)

### 10. 研究発表会表彰運営委員会(新設)

第104回理事会において設置が承認され、体制について現在調整中である。

備考) \_\_\_\_\_, \_\_\_\_\_ : 各委員会の担当役員

## 5 理事会・幹事会報告

### 5.1 第104回理事会報告

第104回理事会が本年2月25日(火)に東京都千代田区麹町の弘済会館において開催された。

なお、これに先立って、昨年12月23日(月)に第85回幹事会が学会事務局において開催され、第104回理事会に付議する事項について審議が行われた。

第104回理事会での主な議事と審議結果は次のとおり。

#### ①ELR2021大会の開催

- ・2021年に応用生態工学会が幹事学会となって開催するELR2021の実行委員長に群馬大学の清水義彦先生を選任することが承認された。

#### ②研究発表会表彰運営委員会(仮称)の設置について

- ・大会の研究発表に対しては、表彰規定に基づき、大会実行委員会および研究活動奨励班の理事・幹事により優秀発表賞審査委員会を組織し、研究活動奨励班が審査員を選出し依頼する。研究活動奨励班が事前に作成するマニュアルにそって優秀発表賞審査委員会が賞を運営すると定められている。理事-幹事担当制が廃止されたことを受けて、研究活動奨励班が負っていた役割を含めて新たな実施体制を検討する必要があるが、研究発表会の表彰については、大会中に速やかに審査をしなければならないことや、大会参加者の中から審査員を選ばなければならないなどの制約もあり、準備段階から負担がかかる作業の実態があり、表彰の実施体制をしっかりと整えておきたいとの提案の趣旨説明があった。
- ・この提案に対し、将来構想委員会でも表彰制度を充実すべきとの議論がされており、大会の研究発表だけでなく他の表彰についても議論していくような組織になっていくことも考えたら、表彰専任の委員会を設けるのはよいと思う等の意見があった。

- ・その結果、大会の研究発表の表彰対応のために研究発表会表彰運営委員会を設置し、第5次中期計画の内容を見て、学会全体の表彰のあり方、委員会について検討するとの方針が承認された。

③事務局改善委員会の名称変更について

- ・本委員会は、中期計画のアクションプランに「事務局運営の経済的な自立に向け、事務局長と常勤的事務局員の経費を学会で負担できるよう財政面の目途を付ける」との項目が掲げられて、それを実現するために設置されたが、2013年に事務局長1人、事務局員1人という事務局体制ができて、その時点では目的は達成された。その後もその体制を維持していくために財政基盤の安定化の取り組み、個人会員、賛助会員の増加に向けたサービスの向上や助成金の確保等のいろいろな課題に取り組んでおり、現在の活動内容を反映すべく、名称を「企画運営委員会」に変更したいとの提案があり、承認された。

## 6 2020年度行事経過と今後の予定

### 2020年度(令和2年度)行事経過と今後の予定

4.1	2020年度(令和2年度)開始
4.6	国際交流委員会(メール会議), 2020年度海外学会等への派遣者募集の中止を決定
4.17	第24回札幌大会第2回実行委員会(新型コロナ感染拡大のため延期)
4.17	応用生態工学会札幌「氾濫原テキスト」勉強会(新型コロナ感染拡大のため延期)
5.14~20	第105回理事会(メール会議)
5.21	ニュースレター88号発行
5月	幹事会(メール会議)
6月	理事会
7月	会誌「応用生態工学」Vol.23-1発行
7月	ニュースレター89号発行
7月	幹事会
8月	理事会
9.24~28	応用生態工学会第24回大会【延期】
9月	応用生態工学会第24回総会
12月	幹事会
12月	ニュースレター90号発行
1月	会誌「応用生態工学」Vol.23-2発行
2月	理事会
2月	ニュースレター91号発行
2月~3月	2021年度海外学会等への派遣員の募集
3.31	2020年度(令和2年度)終了

## 7 事務局より

### 7.1 住所等の連絡先が変更となった場合は連絡をお願いいたします

会員情報の変更登録は、ホームページのトップ画面右上の「入退会・登録変更・購読」バナーから入り、「会員登録情報変更フォーム」から入力して送信してください。

また、下記 URL で「会員登録情報変更フォーム」へ直接接続することもできます。

<https://www.ecesj.com/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=change>

会員情報変更のご連絡は、学会事務局のアドレス E-mail: [eces-manager@ecesj.com](mailto:eces-manager@ecesj.com) にメールをいただくことでも可能です。

会誌のお届け、ニュースレター、その他連絡では、かなりの不達が発生しています。 よろしくお願いたします。

### 7.2 退会の申し出は学会ホームページの退会フォームからお願いいたします

退会の申し出については、退会フォームのほかに、事務局へのメール、電話、年会費払込請求書の通信欄に記載等でなされています。事務局の見落とし等の原因の元になりますので、できるだけ退会フォームまたは件名に「退会の連絡」等明示したメールによる申し出をお願いいたします。

### 7.3 既刊学会誌を希望する会員に頒布します（郵送料は負担してください）

学会事務局では、既刊学会誌の在庫整理を進めています。今後は一定の冊数を確保して、残りは希望者への頒布、廃棄を考えています。希望者多数の場合は、先着順です。

希望される会員は、学会事務局のアドレス E-mail: [eces-manager@ecesj.com](mailto:eces-manager@ecesj.com) までお知らせください。申込者には、事務局から郵送料を計算してお知らせします。郵送料をいただいた後、発送します。

### 7.4 会員数および LEE 購読者数

2020年5月21日現在

	会員数	対前年同時期比較	LEE 購読者数	対前年同時期比較
名誉会員	9名	増 1名	2名	増 1名
正会員	840名	減 9名	※69名	減 2名
学生会員	95名	増 6名	4名	増 3名
合計	944名	減 2名	75名	増 2名
賛助会員	43法人 (62口)	増1法人 (増2口)		

※賛助会員 1社を含む